

の推進

6月定例会

平成21年6月16日～6月26日

本市の公用車配置状況

地区	一般車輛	特殊車輛	合計
穎娃	30	37	67
知覧	34	37	71
川辺	31	40	71
合計	95	114	209

※今回の購入により一般車輛は98台になります。

○低燃費低公害車購入事業費
1411万8千円

公用車の老朽化による更新を含め6台（エコーカー）を購入する。

総務費

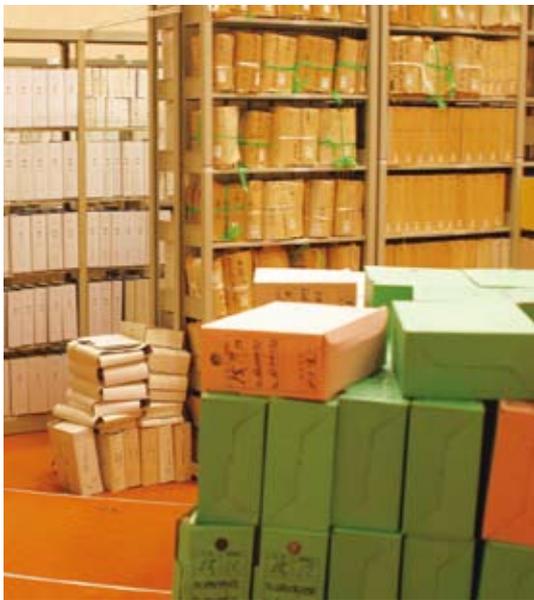
○市役所駐車場整備事業費
700万円

職員駐車場の舗装・排水溝の整備などを行う。

○一般会計補正予算の主なものは、保育所関係費、市道・農道整備費、商工業の育成・振興費などで、国の経済対策に伴う交付金及び補助金を主な財源として、8億1301万7千円を追加し、補正後の予算総額は、203億8301万7千円としました。

一般会計の主な補正

6月定例会は、6月16日から26日までの11日間の会期で開催されました。補正予算をはじめ、条例の廃止、固定資産評価審査委員会委員の選任など慎重審議の結果、原案どおり可決、同意されました。陳情については、1件を採択、2件が継続審査となりました。



山積み状態の保存文書（穎娃庁舎）

○庁舎管理費
111万2千円

穎娃庁舎に保存文書の保管書架を購入する。

～審査の中で～
昨年12月議会で7連式の書架購入の補正を行ったが、今後も購入していく考えが。

答 穎娃庁舎の保存文書が予想以上に多く山積み状態になっている。今回の購入により、向こう数年間は対応できる。

衛生費

○一般経費
30万3千円

新型インフルエンザ対策

○第1児童館施設整備事業費
450万円

川辺第1児童館の園庭の整地、排水工事及び外柵の取り替えなどを行う。

民生費

策として、感染症防護対策キット（マスク、手袋、ゴーグル、防護服など）90セットを購入する。



排水の悪い園庭を現地調査する議員ら

～審査の中で～
問 新型インフルエンザ発生時の対応とセット数の根拠は。
答 基本的には、保健所が対応するが、初動の活動ができるよう各支所に3人の10日分準備する。

経済対策事業

光材の張替えを行う。

ガラスハウス4棟の自動カーテン及び1棟の遮

○知覧農業振興センター
管理運営費

伝販売や販路開拓などに
対し補助する。

茶消費対策として、宣
伝販売や販路開拓などに
対し補助する。

○茶消費拡大特別対策事
業費

整備などを行う。

○市単独土地改良事業費
1億2597万8千円

農林水産業費



東武百貨店で実演販売する茶農家

○農地費（一般経費）

21万1千円

平成10年度から11年度
の農村総合整備事業（知
覧地区）で、分筆登記が
されていなかったことに
よる20年度分までの畑か
ん地区除外決済金及び利
息である。

○肉用牛生産基盤強化緊
急確立事業費

665万円

市内で生産された子牛
を肥育素牛として保留又
は導入に要する経費を補
助する。

土木費

○市道舗装補修事業費

1億430万円

経済危機対策臨時交付
金事業により、路面の不
等沈下、ひび割れ、亀裂
などが著しい路線の舗装
補修工事を行う。
（頰娃2路線、知覧3路
線、川辺4路線）

○経済危機対策市道舗装
補修事業費

1億4000万円

国の補正予算による追
加事業で、舗装補修工事
を行う。
（頰娃4路線、知覧1路
線、川辺5路線）

○市道橋りょう維持費

1億2420万円

橋梁の修繕及び架け替
えなどの計画を策定する。

○橋梁長寿命化策定事業
費

1200万円

市道維持管理、側溝整
備、舗装補修、交通安全
施設工事を行う。
（頰娃4路線、知覧10路
線、川辺6路線）



ひび割れが著しい東塩屋の市道塩屋線

商工費

○プレミアム付き商品券
発行事業費

1765万8千円

商工会で発行するプレミアム商品券の割増分と事務費に対し補助する。

○アグリランドえい施設
整備事業費

2872万9千円

アグリ温泉泉源ポンプ取替えとゴーカート6台の更新などを行う。

○川辺仏壇販路拡大緊急
対策事業費

400万円

県内消費者への宣伝広告や展示販売に要する経費を補助する。

教育費

○幼稚園施設整備事業費

3800万円

園児、職員、保護者などの安心、安全を確保するため、知覧幼稚園舎天井のアスベスト除去工事を実施する。

○諏訪運動公園施設整備
事業費

1880万円

トイレ、浄化槽改修(2箇所)、配管・電気工事などを行う。

○スクールバス運行経費

72万9千円

市所有の知覧中スクー

ルバス1台の修理及び代替バス借上料である。

～審査の中で～

問 バスの購入年度、走行距離、故障の状態はどのようになっているか。

答 平成8年3月に購入し、走行距離は4月現在

28万2820キロメートルである。

オイルの消耗が激しく走行時に白煙が出ている。

災害復旧費



護岸が崩れた宮田川
(川辺地域)

○公共土木施設災害復旧
費

1010万円

公共土木施設の災害復旧工事を行う。

○農業用施設災害復旧費

206万1千円

豪雨による農地災害の復旧工事を行う。

特別会計

○後期高齢者医療事業

85万円

制度周知のリーフレット(ちらし)配布の経費である。

～審査の中で～

問 リーフレットの配布はどのように行うか。

答 県後期高齢者医療広域連合からリーフレットが送付され、各庁舎(ことに袋詰めし、関係世帯に郵送する。

企業会計

○水道事業

2685万3千円

石綿管更新事業(高田地域及び野崎地域)が補助対象となったことに伴い、2地域全区間の更新に係る経費などである。

～審査の中で～

問 石綿管の未更新はどれくらいあるか。

答 20年度末で川辺地域の上下水道1993m、簡易水道1995m、穎娃地域の簡易水道2645mが残っており、年次的に更新していく。



ゴーカートを楽しむ子供たち

石綿(アスベスト)の健康への影響について

- 石綿が人体に与える影響として、空気中に浮遊する石綿粉じんを吸い込むことにより、石綿肺や肺がん、中皮腫などを発症させる原因になると言われている。
- 石綿セメント管を通過した水道水の健康影響

アスベストは呼吸器からの吸入に比べ、経口摂取に伴う毒性は極めて小さく、また水道水中のアスベストの存在量は問題となるレベルにないことから、水質基準の設定を行わない。(平成4年、水質基準改正時の毒性評価より)

※本市では、市有建物に係るアスベストの使用状況調査を行っており、問題箇所については定期的にアスベスト空気測定調査を実施し、室内空気的安全確認を行う。